

安倍政権の
暴走から

くらしと営業を守る あたたかい市政へ転換を

宮本秀国団長が代表質問

日本共産党 福岡市議団

2015年予算議会が始まりました。3月3日、日本共産党市議団の宮本秀国団長(南区)が代表質問を行いました。

宮本市議は、高島市長の施政方針と新年度予算案について、101億円の予算をつけた人工島事業など大型開発の推進、格差拡大の安倍ノミクス追従で大企業応援と中小企業冷遇の経済対策、解雇指南を行う雇用特区、福祉・教育を冷たく切り捨てる「行革」などを厳しく批判し、暮らし応援へ抜本的な予算組み替えを要求しました。



予算議会報告



宮本秀国市議は今期で勇退します。
ご支援ありがとうございました。

質問後、傍聴に来られた市民に挨拶する宮本市議

日本共産党のおもな主張

- 中学3年まで医療費無料化を通院でも
- こどもの権利条例の制定を
- 高すぎる国保料の大幅引き下げを
- 介護保険料の引き下げ、特養ホーム増設を
- 待機児解消へ認可保育所の新設を
- 全学年で35人学級を早く
- 公契約条例、住宅リフォーム助成を
- ブラック企業規制条例の制定を
- 非核平和都市宣言を

2月議会レポート

福岡市議会は、人工島破たん救済などを盛り込んだ一般会計2月補正予算などを審議、可決しました。日本共産党は綿貫英彦市議(東区)が議案質疑、熊谷敦子市議(西区)が反対討論に立ちました。



人工島の破たん救済に 「体育館」用地代48億円投入

一般会計補正予算は、現在博多区にある市民体育館の移転先用地として、47億9000万円かけて人工島の土地4ヘクタールを購入するためのもの。融資銀行から返済を迫られた市長がつじつま合わせのために、年度末に慌てて土地を公金で買い取って救済するものです。

日本共産党は、無謀な人工島事業を強行し、破たんしたのに何の責任もとらず、税金・公金投入で穴埋めを続ける歴代市長、議会勢力の無責任ぶりを厳しく追及しました。

市営渡船 志賀島航路 大岳廃止決定を強行



高島市長が提案した市営渡船志賀島航路の渡船場「大岳」を4月から廃止する条例は、日本共産党が反対したものの、自民、公明、市民ク(民主・みんな)、みらい、維新の賛成で可決されました。

市が昨年8月に1度だけ開いた住民説明会では「生活できなくなる」「自治会としては廃止は絶対反対」など怒りの声が続出。11月には廃止決定を一方的に通告しました。大岳廃止は高島市長の「行革」の具体化の一つ。年1千万円の「節約」のために住民の貴重な生活の足を奪おうとするのは、大型開発に財源を集中するためです。高島市長は「ご理解いただきたい」と、住民の声をふみにじる姿勢をあらわにしました。

福岡市2015年度予算案の特徴

- ◆ 予算規模 一般会計 7820億円 ◆ 市債残高 2兆4026億円(一人あたり162万円)
- ◆ 人工島推進 埋立、道路建設、住宅補助、立地交付金など101億円
(青果市場に続き総合体育館、都市高速延伸、野鳥公園など具体化)
※これまでの事業費計3150億円。税金投入は計画を含め1500億円以上に。
- ◆ 大型開発 ウォーターフロント地区の大規模再整備、福岡空港滑走路増設、天神新地下通路、博多駅上空デッキなど
- ◆ 特区関連 31事業34億円(雇用特区、MICE、企業誘致など)
- ◆ 「行革」 85億円(公立保育所民営化、市営渡船大岳廃止、駐車場有料化など)
- ◆ 教育費 570億円(一般会計の7.3%) 学校給食費値上げ4億9800万円
※「カワイイ区」(年1000万円)廃止(2015年3月末)

市民の運動と共同した 日本共産党の論戦で

新年度実現します



福岡市2015年度予算案が発表されました。この中で、市民の運動の力で切実な要求が一步前進しました。どの成果も日本共産党市議団が予算要望で出していたものです。共産党は運動と共同し、市民の声を議会で代弁し、建設的な提案も行い奮闘してきました。

子ども医療費 入院の無料化が「中3まで」に 拡充



子どもの医療費無料化のうち、入院について、来年1月から現在の「小学6年まで」を「中学3年まで」へ拡充する予算が盛り込まれました。

昨年夏とりくまれた中学3年まで医療費無料化を求める署名運動に子育て世代や医療関係者にも共感が広がり、短期間で6万7790筆の署名が提出されました。共産党市議団は子育て世代の切実な声を代弁し、他の政令市と比べて福岡

市の遅れた実態を明らかにし、実現のための財源も示して議会で繰り返し要求。他の会派にも拡充を求める声が広がりました。一步前進です。

通院もぜひ

一方で今回は通院費無料化の拡充は盛り込まれず、「就学前まで」のままです。高い医療費を負担する父母の願いにこたえ、通院も早く中3まで無料化すべきです。

小学校のエアコン設置 完了

父母や学校関係者の切実な願いにこたえて段階的に進められている学校教室エアコン。今年の夏休み中の工事で、小学校すべてで設置が完了します。新年度の事業費は35億円。中学校は2016年度の予定です。



高齢者乗車券が タクシーでも使えるように 拡充

地下鉄やJR、西鉄バスなど的高齢者乗車券がタクシーでも使えるようになります。「足が悪くてバス停までも行けない」の声を受け住民が署名を集めた請願が昨年採択されました。日本共産党が、渋る自民党など他党派に賛同を呼びかけたことが採択の決定打になりました。

特別支援学校 増築で教室不足解消 改善

東福岡、生の松原両特別支援学校の校舎増築の予算が付きましました。児童生徒が増えて、特別教室を仕切り板で分割して教室にしたり、急ごしらえで作られた手洗い場が廊下の窓の外だったり、休養スペースがなく廊下でせざるを得なかったりという困難な教育環境の実態を現地調査し、議会で緊急対応を要求してきました。

非婚母子家庭の 保育料など軽減 新規

同じ母子家庭でも婚姻歴がないと所得税法上の寡婦控除の適用外となり、保育料などの軽減策が受けられない差別的扱いが問題に。改善を求める請願も受け、母子家庭と同じに「みなし」適用することで保育料や市営住宅家賃など6事業で負担軽減が実現します。

留守家庭子ども会 夏休み 朝8時開始に 改善

留守家庭子ども会の夏休みなど長期休暇中の開始時間は8時半となっていて、1年生などの保護者から「子どもが留守家庭に行くのが自分の出勤後になるので心配」との声があがっていました。時間外手当のない留守家庭の指導員が早めに開ける場合も。実態に合わせた改善です。

市民の願いを市政へ届ける

日本共産党 福岡市議団